

令和2年度 上大岡ゆう保育園自己評価結果

○職員自己評価結果

〈保育・事務・保育補助〉

A かなりできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない

	項目	A	B	C	D
1	法人の理念、園の保育目標、保育方針を理解している。	7.7%	87.2%	5.1%	0%
2	計画は理念や保育目標、方針に基づき、子どもの興味、関心、これまでの生活や予想される生活等を考慮して作成している。	13%	82.7%	4.3%	0%
3	子どもの主体性が尊重される保育の展開ができている。	25%	64.3%	10.7%	0%
4	安心して過ごせる安全で衛生的な環境を整えている。	53.2%	46.8%	0%	0%
5	子どもと温かなやりとりや、スキンシップでコミュニケーションを図り信頼関係を築いている。	29.7%	67.6%	2.7%	0%
6	必要以上に禁止や命令の言葉を発したり、行動を急がせたり、自信を失わせる態度はせず安心感と自己肯定感を持てる言葉かけや対応をしている。	11.5%	82.8%	5.7%	0%
7	クラスに関係なく、その場にいた職員が適切な言葉掛けや対応をしている。	29.7%	59.5%	10.8%	0%
8	計画や実践の振り返りを十分に行い、改善や充実を図っている。	7.2%	78.5%	14.2%	0%
9	専門知識や技能を身につける努力をしている。	5.9%	61.8%	32.3%	0%
10	保護者との信頼関係を得るための努力をしている。	25%	62.5%	12.5%	0%
11	伝達・報告を確実にし、情報の共有がしっかり出来ている。	10.8%	78.4%	10.8%	0%
12	的確かつ必要な情報をわかりやすく記録できている。	3.4%	78.5%	26.6%	0%
13	締め切りのある仕事や、提出物の締め切り、会議や打ち合わせの時間を守っている。	33.3%	60%	6.7%	0%
14	当番や役割による仕事を理解し、責任を持ってやり遂げようとする。	32.4%	67.6%	0%	0%
15	業務がスムーズに行えるよう、協力したり、助けあうことができる。	27%	67.6%	5.4%	0%
16	保育情勢や福祉サービスに関心を持ち、保育所が社会に貢献できることは何かを考え、取り組んでいる。	0%	45.5%	48.5%	6%
17	自分の保育感、子育てニーズに固執せず、現状に応じ柔軟に対応するよう心がけている。	7.9%	89.5%	2.6%	0%
18	国籍、思想、宗教、文化や性差、障がい、個性等により区別せず公平に接すると同時に、子どもたちが互いを認め合い、尊重する心を育ていかれるよう、人権や多様性に配慮した保育を心がけている。	27%	70.3%	2.7%	0%
19	保護者からの様々な訴えや要望、意見は主任・園長に相談して真摯に対応している。	46.4%	50%	6%	0%

20	園の運営上の情報、個人情報等の大切な情報は適切に保管・処理し外部に漏れない配慮をしている。	69.2%	30.8%	0%	0%
----	---	-------	-------	----	----

〈調理〉

2	理念や保育目標に基づいた食育計画を作成している。	50%	50%	0%	0%
3	食に関する豊かな体験ができるような食育計画を作成している。	33%	67%	0%	0%
4	調理員、栄養士が保育内容を理解して、献立作成や食事の提供を行っている。	50%	50%	0%	0%
5	喫食状況、残食などを踏まえて調理を工夫している。	0%	100%	0%	0%
	1, 6以降は〈保育・事務・保育補助〉と同様、上記に含む				

\*新型コロナウイルス感染症流行により、大きく変化した1年となりました。行事等の中止、縮小をしましたが、子どもたちと一緒に出来ることを考え、実施してきました。今年1年を踏まえ、感染予防を実施する中で行事の開催を行っていきます。

\*1, 2のC評価があることから、理念や保育目標が理解できていないことがわかります。職員全員が理念、保育目標を理解し、目の前の子どもに結びつけることができるよう、勉強していきます。

子ども主体で、を心がけてきましたが、まだまだできていません。子ども主体の保育についてを改めて考えていきます。また、今年度、「子どもを尊重すること」「子どもの人権擁護」について、園内研修を行ってきました。

5, 6でのC評価があることから、まだまだ勉強が必要であり、来年度も継続していきます。

外部研修を受講する機会が少なかった年ではありますが、9・16のC評価が多いことから、自身での学びの姿勢が少ないことがわかります。広い視野で考えられるよう、勉強していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策で、衛生的な環境作りを行い、安全点検や環境整備にも気をつけてきました。下記は工夫し気をつけたところです。

- ・密を避けるため、グループ活動、コーナー遊びの充実。
- ・廊下を使う、身体を動かす遊びの導入、年齢にあった遊びを考え楽しめる工夫。

- ・マスクを着用となり表情がわかりにくいので、今まで以上に、笑顔を意識し、不安にならない関わり方(目を見て話しかけること、スキンシップ等)を心がけた。

- ・消毒計画表による消毒の実施。特によく触れる部分や飛沫が飛んでいると思われる部分の、こまめな実施。玩具の使用後の消毒、皆が触れる遊具等を使用した後は、必ず手洗いを実施。

- 「おもちゃ殺菌庫」導入。絵本や紙製のものも消毒できるようになった。
- ・子どもへ感染防止指導…手洗いの大切さやこまめな手の消毒、マスクの必要性を繰り返し伝え、感染防止について一緒に考えていった。乳児クラスでも、子どもの前で手洗いの仕方を見せ繰り返し伝えていった。

- ・保護者に、通常と違う部分や、本来ならばこうしている部分を伝えながら、現状の保育をわかりやすくこまめに伝えた。
- ・短い時間でもコミュニケーションを取るよう心掛けた。

- ・保育に合わせ、調理時間を調整したり温め直し、配膳等の協力を行った。
- ・ゴム手袋、軍手(ミソンの代わりに使用)を共有しない。

また、日々の健康管理や行動にも注意した。

～子どもひとりひとりに寄り添い、安心して過ごせる園であるよう努力していきます～